

小松島市営グランド遺跡 第2期発掘調査

令和3年7月から令和4年2月まで実施していた発掘調査について当初は現地説明会等も計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

令和元年度に実施した第1期では元・野球場側の調査でしたが、今回は元・テニスコート側の日峯大神子広域公園の整備事業に伴い破壊されてしまう遺跡の記録保存のため発掘調査を実施しました。



舟形（ふながた）

水辺の遺跡であることを物語
ふながた ひとがた
のように、木製の舟形や人形など
さいしぐ
の祭祀具が多く出土しました。

1300年ぐらい前の律令期のも
やくさい けが
ので、厄災や穢れなどをこれらに
乗せて流したと考えられています。
現代のコロナウイルスの様な疫
病に対する人々の祈りに伴うもの
だったのかもしれませんが。



人形（ひとがた）

徳島市の観音寺遺
跡や板野町の黒谷川宮
ノ前遺跡で同じ形状の
人形が出土しています。



岩盤の出土状況

遺跡は三波川帯変成帯の南端に
位置しており、結晶片岩の岩盤が確
認されました。6世紀頃は一部が海
中の磯であったと考えられ、カキ・ミ
ルクイガイ・ハマグリ・サザエ・アサリ
などの生息していた貝の殻が多く確
認されました。

この周辺の低地の土地の利用は
中世～近世になり本格化したと思わ
れます。

作図風景



製塩土器（せいえんどき）

お塩を作るための土器。塩を取りだす際
に壊されることが大半で完形に近い形で出
土することは珍しいものです。

発掘調査期間中はご迷惑をおかけしましたが、ご理解・ご協力いただき
ありがとうございました。

今後、状況をみながら、市生涯学習センター2階郷土資料展示室での出土
遺物の公開や発掘調査成果の報告会も計画していく予定です。



須恵器杯（すえきつき）

完形で出土した6世紀頃の器



土器や木製品以外にこ
んなものも出土しています。
上はサルの頭蓋骨、下は海
棲哺乳類の頭蓋骨。

他に、牛・鹿・猪・狸・犬・
ムササビ・ウミガメなどの骨
の一部と思われるものも出
土しています。

【お問い合わせ先】 市教育委員会生涯学習課 ☎32・2700/FAX33・1230

Mail:shougai@city.komatsushima.i-tokushima.jp